

八重瀬町
YAESE TOWN

第2次八重瀬町総合計画

実施計画

令和8年度（令和7年度決算分）

事務事業評価

「サマーレビュー」シート

※画像はイメージです

教育委員会
社会教育課

【目 次】

事務事業名	ページ
社会教育団体関連補助金・負担金	1
中央公民館・具志頭分館管理	2
八重瀬町図書館・学習センター及び具志頭図書室管理事業	3
町内遺跡事業	4
資料館施設管理	5

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	教育委員会 社会教育課					班(係)名			生涯学習班	
会 計	一般会計	科 目	10 款	5 項	1 目	主な契約方法(該当のみ)				
事務事業名	社会教育団体関連補助金・負担金									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町内各種団体の活動を支援するため、青少年健全育成連絡協議会、女性連合会、子ども会育成連絡協議会、単位子ども会、高齢者学級、町PTA連合会、町青年会、女性学級などへ補助金を交付する。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	5,260,841		3,936,857	75%	6,495,795	165%	6,411,474	99%	7,239,000	113%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	5,260,841		3,936,857	75%	6,495,795	165%	6,411,474	99%	7,239,000	113%
従事職員	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
事業(予算)執行100%	%	100	100	100	100	100
		100	100	100	100	100
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
補助金交付団体	団体	7	7	7	7	7
		7	7	7	7	7
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果説明	各種団体の事業計画に基づき、補助金の交付や活動事業への指導、育成を促進した。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	2
	⑥従事職員数の適正度	2 従事職員数に見直しの余地がある		2	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合評価】「昨年度の方向性」・Action(改善)									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	B'	投入コストを見直して事業を継続
	有効性	3				効率性	2		
一次評価(所管課)	補助金の有効活用で活動推進を図る。各団体のリーダー研修会の実施、各種団体との交流会などに取り組み、情報交換や意見交換会を行っていきたい。								
二次評価(行革本部)	本事業は、町内の各種社会教育団体の活動を支援することを目的としており、地域コミュニティの活性化、住民の生涯学習機会の提供、青少年健全育成など、住民ニーズが十分に高く、町がその活動を支援する妥当性は高いと評価できるが、どのような社会教育団体に補助金が交付され、具体的にどのような活動を行っているかを、住民が容易に理解できるよう概要を公開するなど、事業の透明性と住民への説明責任を高めることを検討してください。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	教育委員会 社会教育課				班(係)名		生涯学習班	
会 計	一般会計	科 目	10 款	5 項	2 目	主な契約方法(該当のみ)		
事務事業名	中央公民館・具志頭分館管理							

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	社会教育と生涯学習の場として広く利用される中央公民館および具志頭分館を適切に管理し、公共福祉の向上に努める。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	11,392,392		14,014,688	123%	12,121,127	87%	12,971,556	107%	13,451,000	104%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	11,392,392		14,014,688	123%	12,121,127	87%	12,971,556	107%	13,451,000	104%
	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
事業執行100%	%	100	100	100	100	100
		100	100	100	100	100
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
事業執行100%	%	100	100	100	100	100
		100	100	100	100	100
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果説明	中央公民館及び具志頭分館の適切な修繕、委託管理を行い、多様な学習の場や機会を維持している。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	今後も施設や設備の保守・点検、適切な修繕を行い維持管理を行う。				
二次評価(行革本部)	町内の主要な社会教育施設である公民館の適切な維持管理を目的としており、住民の生涯学習、文化活動、地域交流の場を提供する上で不可欠な事業です。より定量的な評価ができるよう、成果評価指標について、次の例を参考に再設定を検討してください。(例)成果評価指標:年間利用者数、年間稼働日数 など				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	教育委員会 社会教育課					班(係)名		生涯学習班	
会 計	一般会計	科 目	10 款	5 項	6 目	主な契約方法(該当のみ)			
事務事業名	八重瀬町図書館・学習センター及び具志頭図書室管理事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	図書館・学習センター及び資料館図書室を適切に管理し、公共福祉の向上に努める。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	-	44,019,759		49,576,908	113%	50,472,111	102%	54,085,000	107%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円									
		県支出金	円									
		町債	円									
		その他	円									
		一般財源	円		44,019,759		49,576,908	113%	50,472,111	102%	54,085,000	107%
		正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	1	100%
従事職員		会任・嘱託職員等	人	-		12		12	100%	11	11	100%
		正規職員時間外勤務	時間									

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
事業執行率	%	100	100	100	100	100
		100	100	100	100	100
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
事業執行	%	100	100	100	100	100
		100	100	100	100	100
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果説明	図書館・学習センター及び資料館図書室を適切に管理するとともに、学習支援、読書の推進、地域資料の提供を行うことができています。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)	小中学校の読書感想文・画の図書の提供や、利用者からのリクエスト相互貸借資料にも対応し読書の推進を図ることができている。								
二次評価 (行革本部)	本事業は、町民の生涯学習、読書活動、情報収集を支える基幹的な社会教育サービスを提供するものであり、適切な維持管理は必要性が高い事業ですが、より定量的な評価ができるよう、例を参考に成果評価指標の再設定をしてください。(例)成果評価指標:年間貸出冊数、一人当たり貸出冊数、年間利用者数(来館者数・登録者数) など								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	教育委員会 社会教育課					班(係)名		文化班		
会 計	一般会計	科 目	0	款	0	項	0	目	主な契約方法(該当のみ)	特命随意契約
事務事業名	町内遺跡事業									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	増加する開発行為への試掘・確認調査や緊急発掘調査、遺跡の保存・活用を円滑に進めることを目的とする。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	1,617,000		2,299,000	142%	7,047,000	307%	7,160,000	102%	3,897,600	54%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円	1,293,600		1,839,200	142%	5,637,600	307%	5,728,000	102%	3,117,000	54%
		県支出金	円										
		町債	円										
		その他	円										
		一般財源	円	323,400		459,800	142%	1,409,400	307%	1,432,000	102%	780,600	55%
		正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員		会任・嘱託職員等	人	-		1		3	300%	2	67%	1	50%
		正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
事業執行率	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		99	100	100	100	100	100	99	100	100	100
		達成率	99%	100%	100%	100%	100%	99%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上段:目標	上段:目標
調査件数	件	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
		5	5	5	5	3	3	3	3	3	3
		達成率	125%	125%	125%	75%	75%	75%	75%	100%	100%
成果説明	試掘調査が2件(字新城、字坡名城)であり、保存目的の調査として令和3年度より継続して須武座原遺跡の調査を実施した。また、令和3年～令和6年度までに実施した町内遺跡15件の調査結果をまとめた報告書の発刊を行った。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3	法令等で町の実施が義務付けされている	3	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3	十分高く、今後も増加が見込まれる	3	
有効性	③成果の達成度	3	成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)	3	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3	成果に対する活動量は適正である	3	
効率性	⑤事業費の適正度	2	事業費に見直しの余地がある	2	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	⑥従事職員数の適正度	2	従事職員数に見直しの余地がある	2	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合計画「令和5年度の方針」】・A:【改善力】									
事務事業の方向性	妥当性	3	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	B'	投入コストを見直して事業を継続
	有効性	3				効率性	2		
一次評価(所管課)	年々町内の開発が増え特に旧志志頭地区で緊急調査を実施している。今後も開発が増えると見込まれるため、予算措置が必要。また担当者として会計年度任用職員を雇用しているが、応募がなく苦慮している。正規職員を募集するのであれば専門員(埋蔵文化財)の応募も見込まれるため検討していただきたい。								
二次評価(行革本部)	本事業は、地域の歴史的・文化的資産を次世代に継承するために不可欠であり、町が直接実施する必要性のある事業です。今後も継続的なニーズが見込まれるが、直接雇用の人員体制の維持が困難な場合、民間の文化財調査会社への業務委託も検討してください。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	教育委員会 社会教育課					班(係)名		文化班	
会 計	一般会計	科 目	10	款	5	項	5	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	資料館施設管理								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	具志頭歴史民俗資料館の管理運営費に充てる。
---------	-----------------------

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	11,820,095		9,263,178	78%	8,898,673	96%	8,827,653	99%	9,430,000	107%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円										
		県支出金	円										
		町債	円										
		その他	円										
		一般財源	円	11,820,095		9,263,178	78%	8,898,673	96%	8,827,653	99%	9,430,000	107%
従事職員	正規職員		人										
	会任・嘱託職員等		人										
	正規職員時間外勤務		時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
事業執行100%	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上段:目標	上段:目標
事業執行	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
成果説明	施設の適切な管理運営及び修繕を行っている。 館では年2回の企画展を開催し、うち平和企画展では戦後80年ということで関連した講演会も開催した。 また、町内外の学校生徒や教員への研修会などへの展示解説や体験活動も実施している。 これらの活動により多くの観覧客が訪れることで、八重瀬町の歴史や文化を深く理解してもらえ町の魅力を広く発信することができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定		
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている				3	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3		
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3		
効率性	⑤事業費の適正度	2 事業費に見直しの余地がある				2	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする	2
	⑥従事職員数の適正度	2 従事職員数に見直しの余地がある				2		

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性	3	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	B'	投入コストを見直して事業を継続				
	有効性	3				効率性	2						
一次評価(所管課)		開館から25年経過し、施設の老朽化に伴う設備や展示物の入れ替えなどの再整備が必要(人員配置も)											
二次評価(行革本部)		本館は、地域の歴史や文化を保存・継承し、町民の教育・学習機会を提供するとともに、町の魅力を広く発信する重要な役割を担っているため、適切な維持管理が必要ですが、より定量的な評価ができるよう、KPIを再設定してください。(例)活動評価指標:年間来館者数、企画展開催数、成果評価指標:来館アンケートによる満足度 など。 また、人員配置について、人員配置見直しの必要性和その根拠を具体的に整理されてください。											